

「こまち野」が激励 合格祈願イチゴ 羽後中3年生へ



羽後町三輪地区でイチゴ栽培を手がける「こまち野」(小野雅敏社長)は13日、高校受験を控える羽後中学校の3年生89人に、合格を祈願したイチゴを贈った。

栽培ハウスで開かれた贈呈式には代表の生徒6人が参加。合格祈願の神事を行った後、小野社長がイチゴを生徒に手渡し、「受験の厳しさに負けず

に頑張ってもらいたい」と激励した。

生徒を代表し、佐藤優月さんが「このイチゴを食べて受験勉強にラストスパートをかけ、みんなで合格したい」と語った。

イチゴの贈呈は、生徒が受験に「イチ」番に「ゴウ」格できるようにと願いを込め、2014年から行っている。(加藤慶一郎)

(令和8年2月17日(火)秋田さきがけ新聞から一部抜粋)